



さあ、答え合わせをしよう！

第37週目 4/5 行ってみよう～東京都(とうきょうと)からの出題

※ココを見てね! ▶行ってみよう～東京都(とうきょうと)

1. 東京都の小笠原諸島に属(ぞく)する沖ノ鳥島(おきのとりしま)の話です。日本で1番、何ですか？

正解:② 1番南にある島

①日本で1番小さな有人島(ゆうじんとう/人が住んでいる島)は、長崎県(ながさきけん)の五島列島(ごとうれっとう)にある「蕨小島(わらびこじま)」です。周囲1.8km、面積0.03km²の小さな島では、島民が共同(きょうどう)でハマチの養殖(ようしょく)をしているようです。③1番高いところにある島? これはひっかけ回答でしたね。正解は、②1番南にある島です。1番南といわれると、つつい沖縄県(おきなわけん)だと思いがちですが、日本の中で1番南にある島は、東京都の小笠原諸島(おがさわらしょとう)にある「沖ノ鳥島(おきのとりしま)」なんです。この島は、無人島(むじんとう)です。もし、人が住んでいる島の中で1番南は? と聞かれたときは、沖縄県(おきなわけん)の八重山諸島(やえしましよとう)にある「波照間島(はてるまとう)」と答えてね。

2. 多摩ニュータウンNo.471 遺跡(いせき)の土偶(どぐう)がみつかったとき、欠けていたのは、体のどこ？

正解:③足

「お宝ベスト5」1つ目にありますね。正解は③足です。白く塗(ぬ)られた顔は、入れ墨(ずみ)を表現(ひょうげん)したと考えられています。縄文時代中期(じょうもんじだいちゅうき)の状態(じょうたい)の良い土偶(どぐう)として、海を渡(わた)って、イギリスの大英博物館(だいえいはくぶつかん)でも展示(てんじ)されたんですよ。

3. 下布田遺跡(しもふだいせき)から出土(しゅつど)した耳かざりは、何でできていましたか？

正解:①土

耳かざりや首かざりなど、今の私たちがつけるアクセサリーは、縄文時代(じょうもんじだい)にすべて揃(そろ)っていました。オシャレしたい気持ちは、今も昔も同じなんです。ほぼ完全な形で発見(はっけん)された耳かざりは、土でできていました。正解は①、「お宝ベスト5」2つ目に写真付きで紹介(しょうかい)されていますよ。また、アクセサリーの話は、新コーナー(調べてみよう～生活文化「衣」)も見てみてね。

4. 久ヶ原遺跡(くがはらいせき)からみつかった弥生時代の壺(つぼ)には、どんな模様が描かれていましたか？

正解:②三角形(さんかっけい)

縄文土器(じょうもんどき)にくらべて、シンプルな印象(いんしょう)のある弥生土器(やよいどき)ですが、決してデザインされていないわけではありません。久ヶ原遺跡(くがはらいせき)の土器(どき)は、南関東(みなみかんと)に多く見られる代表的なもので、細い棒(ぼう)などで文様(もんよう)をつけ、赤く塗(ぬ)られていることから、「赤彩土器(せきさいどき)」ともよばれています。「お宝ベスト5」3つ目、正解は②三角形です。土器(どき)についての説明(せつめい)は、新コーナー(調べてみよう～生活文化「土器(どき)」)も見てみてね。

5. 狛江亀塚古墳(こまえかめづかこふん)の墓(はか)の形は、次のうちどれですか？

正解:①帆立貝形古墳(ほたてかいがたこふん)

狛江亀塚古墳(こまえかめづかこふん)は、東京都狛江市(とうきょうと こまえし)でみつかった帆立貝形古墳(ほたてかいがたこふん)をもつ、古墳時代(こふんじだい)の遺跡(いせき)です。墓(はか)からは、銅鏡(どうきょう)や鉄剣(てっけん)、馬具(ばぐ)などが出土(しゅつど)し、それらの特徴(とくちょう)から、狛江地域(こまえちいき)と朝鮮半島(ちょうせんはんとう)との結びつきが注目(ちゅうもく)されました。もうわかりましたね。正解は、①帆立貝形古墳(ほたてかいがたこふん)。「お宝ベスト5」4つ目も読んでみてね。